

宇土市地域学校協働活動便り

「結」

No.5

R6.8.10

発行

宇土市教育委員会
生涯活動推進課
生涯学習係
文責:中村敬人
TEL0964-22-6510

連日、猛暑日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。くれぐれも熱中症等にご留意されてください。

遅ればせながら、残暑お見舞い申し上げます。

学校から地域へ発信の取組 ～鶴城中学校音楽部（第2弾）～

先月16日（火）に上記の取組を実施しました。この取組は昨年度から取り組み始めた活動です。

鶴城中学校音楽部の生徒が、きれいな歌声を老人福祉センター利用者へ届ける活動です。2月に1回目を実施した折は、センターより相談があり実現しましたが、今回は、中学校より要請があって実現しました。つまり、学校とセンター（地域）が双方向で協働して取り組む活動となったのです。

1時頃に取材のためセンターを訪ねると既に30～40名程の方々が待っておられました。暫くして音楽部の生徒10名が到着しました。2回目とあってさほど緊張しているようには見えませんでした。

一曲目は今の季節にぴったりの誰もが口ずさめる「夏の思い出」です。そうです！この歌詞です。「夏が来れば思い出す…♪」全部で4曲。特に最後の曲は、これまた誰もが知っている名曲、「上を向いて歩こう」です。生徒たちの歌声につられて口ずさむたくさんの聴衆の姿がありました。会場が一体となったコンサートでした。選曲もよく考えられています。ただ、歌声を届けるのではなく（歌いっ放しではなく）、どんな曲なら喜んでもらえるかまで考えてのコーラスなのです。相手を思う気持ちが伝わってきました。だからこそ、聴衆に喜んでもらえたのだと思います。そして、歌声を届けた中学生も聴衆の笑顔に達成感を感じていたはずです。

コーラス終了後に聴衆から、「優しくきれいな歌声に感動しました。」「次の会では〇〇を歌って。」等の感想をいただきました。その感想を受けて生徒一人一人から返しの言葉を伝えてもらいました。

そして、互いの口から交わされた言葉が、「また、聞きたいから必ず来てね。」「きっとまた、歌いに来ます。」でした。これからも続く取組となりそうで担当者としてとても嬉しい限りです。

今回もご協力いただいた老人福祉センターの方々にも感謝します。



地域行事への参画を通して

8月は夏休みとあって学校の教育活動はありません。したがって私も小休止状態です。

そのような中に花園小・宇土東小学校の子供たちが宇土地蔵祭りの造り物等の制作に汗しています。また、鶴城中学校バトン部の生徒が二日目のステージに登場予定です。その他にも子供たちの文化作品の展示があります。地元の行事（地蔵祭り）への参画が、将来の地域の担い手としての貴重な体験の場になることを期待します。

さて、小休止状態とは言うものの9月の活動の準備を始めなくてはなりません。私の主な取組は2つです。その一つは、鶴城中学校でのボランティアによる読み聞かせです。9月から翌年2月まで月1回、計6回の活動です。たくさんのボランティアの方にご支援いただいています。もう一つは、昨年度から始めた「敬老の日に団扇を贈ろう」の取組です。子供たちのメッセージ付きの手作りの団扇を老人福祉センター利用者へ届けます。どちらも双方向で取り組む活動となっています。

地域学校協働活動は、学校と地域が連携・協働して双方向で取り組む活動です。